

はやま住民福祉センターだより



今月のテーマ

福祉教育は、福祉のまちづくりの原点です！

福祉教育の目的は、地域共生社会を実現するために、誰もがともに生きるという意識や文化を日常生活の中に定着させて、ともに生きることができる社会づくりをしていくことです。誰一人として同じ人はいません。それぞれが持つさまざまな個性などをお互いに認め合い、助けあい・支えあいができる地域づくりは、とても大事なことだと言えます。福祉教育はとかく「子ども」に限ったことだと考えられがちですが、子どもから大人まで、全世代を対象にした取り組みです。年齢などに関係なく、生涯学び続ける(生涯学習)という視点で考えると、日常の生活場面で生活のしづらさに気づき、その改善のために行われている地域に貢献する活動も、「ともに生きる力を育みあう学びあい」だと言えます。その機会は日常生活のいろいろな場面の中にあります。とても身近でとても大事なことなのです。

助けあい・支えあいの福祉(ふだんのくらしのしあわせ)のまちづくりの原点は「福祉教育」の積み重ねであることを念頭において、葉山町社会福祉協議会では今後も取り組んでいきたいと思っております。

★ “福祉教育”について、知り、学び、気づきになる講座を開催します ★

「私達が住む・働く地域にはどんな人がいるのかな?」「福祉教育ってなんだろう?」「学校ではどんな取り組みをしているんだろう?」など疑問や興味・関心をお持ちの方、「自分にも何か役に立てることがあるかもしれない!」とお思いの方など、多くのお申込みをおまちしております♪

★ 福祉教育推進講座 ★

～ 福祉教育の必要性やその取り組みから、自分達にできることを考える ～

日時: 3/28(木) 13:30～16:30 場所: 葉山町立図書館 2階ホール

内容: ①基調講演 「福祉教育の必要性と地域・学校・福祉施設等の役割」

宇都宮短期大学 人間福祉学科 教授 宮脇文恵 氏

②実践紹介 「総合的な学習の時間」での取り組み

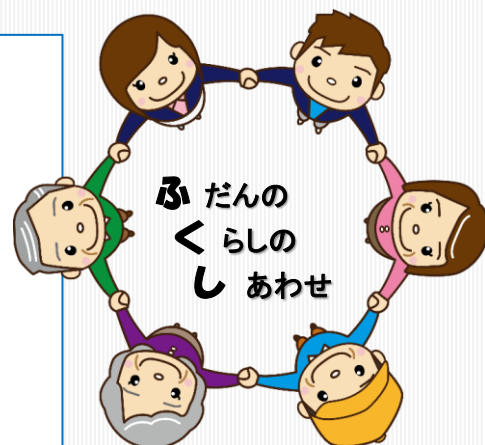
葉山町立長柄小学校 教諭 森陽祐 氏、巖崎嶺 氏、柿ノ迫里実 氏

③講 話 「福祉教育を通して伝えたいこと」

視覚障害当事者として返子・葉山で福祉教育活動を実践 荒木俊彦 氏

④グループワーク 「私達が福祉教育を通して出来ること」

申込: 3/21(木)迄に社協まで



ふだんの
くらしの
しあわせ

◆多様な子どもを育む、障害の有無を問わず誰でも参加できる「子どもと親のための居場所」の情報

ホームページ「みんなで見守る葉山の子」をご存知でしょうか。障害があってもなくても、安心して参加できる町内や近隣の親子の居場所の紹介や、関連するイベント情報、葉山の子の成長を見守る地域での活動者へのインタビューなどが掲載されています。2017年にNPO法人オーシャンファミリーが実施した子どもの育ちや関わり方に関する勉強会をきっかけに、情報発信のホームページが立ち上がりました。2021年にホームページがリニューアルされ、実行委員会形式でホームページが維持・管理されています。「子どもの育ちについて学びたい」「居場所をさがしたい」「何かお手伝いしたい」方、アクセスしてみたいはかがでしょうか。「みんなで見守る葉山の子」 <https://hayama-kids.com/>



みんなで見守る
葉山の子



♪ みんながつながるコンサート ♪ ～葉山町制施行100周年記念事業～

○日時: 3/27(水) 13:00開演 (12:00開場)

○会場: 葉山町福祉文化会館

○演奏: ロバの音楽座 / 中世・ルネサンス時代の古楽器やオリジナル空想楽器により、子どもも大人も楽しめる「音と遊びの世界」を創造しているグループ。

○入場料: 一般1,000円、障害者手帳・療育手帳をお持ちの方(介助者1名含む)・中学生以下無料。元気なお子さまも一緒に楽しめます。

○共催: 葉山福祉文化ラボ、葉山町社会福祉協議会

○問合せ: 090-8081-6201(担当: 杉野氏)

不登校・ひきこもりの家族会 葉山ゆずり葉の会

○日時: 3/14(木)、4/25(木) ※ZOOM参加も可

10:00～11:30 不登校の子の家族

13:30～15:00 ひきこもりの子の家族

○会場: 葉山町福祉文化会館 2階第2集会所(イスあり)

ゆずり葉の会 zushi.yuzurihanokai@gmail.com